

## 2月定例教育委員会会議録

- 1 開催日時 平成28年2月17日（水）14時58分～16時24分
- 2 開催場所 武雄市役所 4階会議室
- 3 出席者名 教育委員：諸石職務代理者、古場委員、前田委員、河内委員、奥川委員、貝原委員、森委員、犬走委員、浦郷教育長  
事務局：溝上こども教育部長、諸岡こども教育部理事、牟田教育政策課長、徳永学校教育課長、諸岡スマイル学習課長、中尾生涯学習課長、西野文化課長、杉原図書館・歴史資料館長、山頭学校教育課参事、樋渡教育政策課教育政策係長
- 4 傍聴者数 なし
- 5 報道関係者 なし
- 6 議事録署名人の指名 【奥川委員を指名】
- 7 前回会議録の承認 平成28年12月、1月定例教育委員会会議録
- 8 教育長の報告 前回以降の報告
  - 1 児童・生徒の活動について
  - 2 官民一体型学校について
  - 3 ICT教育の推進について
  - 4 社会教育について
  - 5 人事関係
- 9 議 事
  - (1) 提出議案  
第37号議案 武雄市教育委員会懲戒処分審査委員会規程の一部改正について  

【原案どおり議決】
  - (2) 協議事項
    - ① 平成27年度3月議会提出「教育に関する報告」について
    - ② 平成28年度「武雄市の教育」について
  - (3) 報告事項  
市立図書館の選書について
- 10 各課等からの報告
- 11 次回開催日程について  
【平成28年3月24日（木）15時～ 市役所4階会議室】
- 12 その他
- 13 閉会

午後 2 時 58 分 開会

○職務代理者

ラジオを聞いていますと、日本のあちこちでウグイスの初鳴きがあったと聞いております。それを聞いて、近くでじっと耳をそばだてておりますが、うちの辺はまだ鳴きませんので、歯がゆいもんです。

では、ただいまより 2 月の定例教育委員会を始めたいと思います。よろしく願いいたします。

早速、議事録の署名人でございます。今度は奥川委員さんになっております。どうぞお願いいたします。

前回の会議録の承認でございます。

12 月分、1 月分で何かございましたらどうぞ。よろしいでしょうか〔「なし」と声あり〕。

では、異議なしと認めて、記録のとおり承認することといたします。

そして、きょうはこの後、また会議があるようで、4 時 24 分までで終わりたいと思いますので、御協力をお願いいたします。

では、教育長の報告をお願いいたします。

○教育長

短くいきたいと思います。

けさは武雄のことがいろいろ佐賀新聞に載っていました。机上にお配りしていると思います。これからいきますと、1 人 1 台というのは非常にいろんなことができるんだというのを特にこの食育で感じております。

先日、若木小学校で最後の推進協議会が開かれました。ここまでできるのは全国でも初めてだということで、非常に高い評価が出ておまして、グラフにも出ていましたけれども、保護者の方も非常に興味を持って取り組んでもらったと。また、地域の人もいろんな面で協力をしてもらっている。

なるほどねと思ったのがありまして、これをしながら保護者の方に料理教室ですか、朝御飯とかですね、片方にこういうことをやりながらされたもので、非常に成果があったということで、すばらしい実績になっているようであります。

それから、ICT 関係で続けますと、その新聞の裏側に東川登小と山内西小の授業公開ということで載っておりました。タブレットの有効活用ということで、今後も可能性を探っていきたいと思っております。

それから、児童・生徒の活動についてでありますけれども、雄武町交流団、岡本団長以下、所期の目的を果たしていただきました。

インフルエンザですけれども、これまで市内3小学校で学級閉鎖がありました。しかし、大きな流行にはなっていないようです。現在は御船が丘小とか朝日小で欠席が多い状況という事です。

それから、昨日、県立高等学校の特色選抜の合格者の発表があつておりました、市内からは受験者が341名、うち合格者が99名というような数値になっております。

それから、幾つか表彰があつておりました、武雄北中学校が教育センターの教育実践論文で校内研究の部で奨励賞を受賞されております。学校賞として表彰されるのは県内で3校でありまして、極めて意義深い受賞だと思っております。夢プロジェクトの実践を中心にして、数年分をまとめて発表してもらっております。

それから、スポーツチャレンジという県の教育委員会でされている事業がありますが、あした表彰式が予定されておりました、これもいろんな種目があるんですけれども、武雄小学校、朝日小学校、武内小学校、東川登小と、あしたは県での表彰式に出席してもらう予定にしております。大変頑張っております。

それから、社会教育では、「空・海・大地と木のうた」の演奏会で、たくさんの皆さんに入場いただきました。大村交響楽団も東京混声合唱団も昨年、一昨年とか市内の小学校を巡回していただいていることもありまして、非常に親しみを持って聞いていただいたように思います。大変盛り上がりのある演奏会になりました。

19日からは県内一周駅伝があるわけでありまして、ケーブルテレビ等で盛んに報道があつておりますけれども、頑張ってくださいものと思っております。

後から紹介があるかわかりませんが、「佐賀の乱と武雄」というですね。雄武町に行った子どもたちが北海道神宮で佐賀から来たということで非常に歓迎をしていただきました。私もこうやって北海道神宮からもらったんですけれども、いろんなチラシを持っていて、島義勇伝というのを北海道神宮で、26年に出してありますが、佐賀からということで、非常に歓迎してもらうわけです。この島義勇さんのことについても、この企画展は非常にたくさんの資料が出されているようでありまして、進めていきたいと思っております。

それから、いじめにつきまして、ずっと委員さん方にも話をしてもらったり、いろいろ対応していただけてきたわけです。現在、特別懸案として私どもが行っている事案はございません。報告はずつとあつておりますけれども、何カ月かして解消したというような事例がほとんどでありまして、解消していないというのは1件だけですね。ほぼ解消しつつあるけれども、ちょっともう少し時間をかけて見てみようというところで、中学校で1件だけ、まだ解消とは言えないというのがございます。

あと、課長さん方から話していただきたいと思います。

以上です。よろしく申し上げます。

○職務代理者

ありがとうございました。

何か御質問ございませんか。いいでしょうか〔「なし」と声あり〕。

では、議事に入りたいと思います。

きょうの議案は第37号議案 武雄市教育委員会懲戒処分審査委員会規程の一部改正についてということで提案されております。

では、第37号議案の提案をお願いいたします。

#### ○教育政策課教育政策係長

2 ページ、第37号議案 武雄市教育委員会懲戒処分審査委員会規程の一部改正について、議案書により説明。

#### ○職務代理者

規程の一部改正でございます。質問ございませんでしょうか。よろしいでしょうか〔「異議なし」と声あり〕。

異議なしと認めます。原案のとおり可決いたしました。

では、次に協議事項が2件ございます。

まず最初に、平成27年度3月議会提出「教育に関する報告」についてでございます。提案をお願いいたします。

#### ○教育政策課教育政策係長

3 ページ～5 ページ、協議事項、平成27年度3月議会提出「教育に関する報告」について、議案書により説明。

#### ○職務代理者

もう目を通していただいたと思います。何かこの報告について、質問、御意見等ございませんか。よろしいでしょうか〔「異議なし」と声あり〕。

では、異議がございませんので、提案どおりに可決いたしました。

次に、平成28年度「武雄市の教育」についてです。教育の方針、また具体的施策等についてでございます。

#### ○教育政策課教育政策係長

協議事項、平成28年度「武雄市の教育」について、具体的施策（案）により説明。

#### ○職務代理者

どういたしましょうか。具体的施策の中で10ページまででございますが、大体もう見ていただいていると思いますので、重点施策の11ページのところからが新しくつけてもらっておりますが、何かそれぞれの課で説明をちょっとだけしていただければと思いますが。

#### ○各課説明

（教育政策課、学校教育課、スマイル学習課、生涯学習課、文化課の順に説明）

#### ○職務代理者

ありがとうございました。

では、具体的施策は見ていただいて、そして新たに絞った重点施策を上げてもらっております。それについて、まず委員さん方から御質問はございませんでしょうか。

**○A委員**

武雄市の教育の基本方針の中には、基本目標が御承知のように5つ、1から5まであるわけですよね。それで、今御説明があったのは基本目標の1と基本目標の2について各課の課長さんから話があったんですが、この基本目標の中には重点事項というのがずっと書いてあります。

それで、ちょっとお聞きしたいのは、今、1と2は基本目標の話があったんですが、あとの3と4と5、ここにも重点事項というのがあると思いますが、この分については重点施策として上げなくていいのかということで、どうしてこの今5項目だけになったのか、そこら辺をちょっと教えてもらいたいと思いますが。

**○職務代理者**

今のA委員さんの質問に対して、ほかの委員さん方から同じような質問ございませんでしょうか。

**○C委員**

私も同じ考えです。

**○教育政策課教育政策係長**

今回、重点施策をつくる上で、つくり方を考えたわけですが、今回についてはちょっと模索をしております。各課のほうから28年度における重点的な施策ということであげていただいています。目標ごとにあげているわけではなく、各課のほうからで、たまたま1と2に集まったという形になってしまったんですけれども、考え方として、基本目標1から5まである中で1つずつということであれば、学校教育課であれば2つ出たりとか、生涯学習課からは3つ、そういったやり方もあると思います。ただ、今回は各課のほうにお願いをして、各課の中で重点と思われるべき事項をあげてくださいといったことで、こういった形になりました。

**○A委員**

そしたら、今回は各課から1項目ということであげてもらったというわけですかね。

**○教育政策課教育政策係長**

はい。

**○A委員**

それじゃ、あとの残りの重点事項については、あくまでも重点事項で、おろそかにすることじゃなくて、特に重点施策として各課から1項目ずつ上げてもらったということで理解しているんですかね。

**○教育政策課教育政策係長**

はい。

**○A委員**

はい、ありがとうございました。

**○職務代理者**

ただいまの質問で、もうよろしいでしょうか。

では、委員さん方で見ていただいて、御意見等ございましたらどうぞ。また、何かほかの案等が委員さん方でありましたらどうぞお願いいたします。

**○F委員**

生涯学習課の分です。

この具体的な取り組み内容の①に高校生ふれあい事業ということがありますがけれども、ここに大学生も何か触れ合うというか、できないでしょうか。

そして、障がい者スポーツの普及を今スポーツ推進等でしておりますけれども、このユニバーサルスポーツとって、オリンピックにでも出るのをしています、西九州大学の教授とか学生の方にすごく去年はお世話になっております。そういった方も協力していただいて、より専門的分野を教えていただいて普及しないと、障がい者の方の普及というのがなかなか難しいものがあるので、専門的な知識を得る意味でも、また今までどおり西九州大学さんとか大学生の方々の力を、ぜひ加えていただきたいと思います。

**○職務代理者**

今のF委員さんの御意見に対して、ほかの委員さん方はいかがでしょうか。

**○G委員**

大賛成です。

**○職務代理者**

E委員さんはいかがでしょうか。

**○E委員**

とてもいいことだと思います。

**○職務代理者**

今、高校生というのが出てきて、特に大学生も一員であるということと同時に、やっぱり学ぶ意味だったらこういうふうなところで学んでもらってもいいし、大学生になったらやっぱりより専門的な学びをしているから、それも一つの、ここ武雄市は学びの場でもあるというとり方もできるなと思うと、若い力を育てるという意味でも、私もいいなと思いますが、いかがでしょうか。お願いしてよろしいですか。

**○生涯学習課長**

本当に貴重な御意見をいただきましてありがとうございます。

高校生ということでピックアップはさせていただきましたが、やはり各世代が学びに取り組むということで、また学びつつ、また教えつつという、そういったことのまちづくりを目指して進んでいきたいと思えます。貴重な御意見いただきましてありがとうございます。

#### ○F委員

よろしくお願ひします。

#### ○職務代理者

ほかにございませんでしょうか。

#### ○G委員

3ページの【重点事項6】教職員の資質や指導力の向上のところ、まず質問させていただきましたけれども、(1)のところですね、教職員の支援を行って教師の指導力向上に努めますというふうに書いておりますけれども、教務的な授業の指導法とかの研修は、私たち教育委員も何回か視察をさせていただいているんですけれども、進路指導、特に受験指導みたいな、こういった研修の場とか、そういったものがあるんでしょうか。

#### ○学校教育課長

重要なことだと思っておりますけれども、残念ながら今のところ、武雄市の教育委員会が指導する形としては行っておりません。各学校で持っているノウハウで行っているところがございます。

ただ、1つ、小学校の進路指導が始まりまして、私立中学校でありますとか、県立中学校でありますとかに進学を希望する児童の皆様が出始めてきたころに、中学校が持っている高校入試に関する進路指導ノウハウというのを小学校と共同で学んだことはございます。

ただ、大事なことでございますので、ここをちょっと持ち帰らせていただきまして、どういう形ができるのかというのを検討させていただければと思えます。

#### ○職務代理者

つけ加えて、県では進路指導部会というのがあって、各学校の担当者が県下一斉集まってきたいろいろな研修とかなんとかしている、情報交換とかもしている、それはまだ今でもありますか。

#### ○学校教育課長

もちろん進路指導部会、小学校も中学校もございまして、今度、山内中学校がその発表も行いますけれども、恐らくG委員さんが質問された大きな趣旨といたしましては、進学指導の部分で、ぶれがないかどうかとか、正確な指導ができていのかどうかとか、そういう部分があるのじゃないかなと思えます。

学校が持ち得ます情報、いわゆる入学試験に関する情報、入学試験に付随する学力検査に対する情報というのが、どうしても限られたものがございまして、そういった中で、場合によっては塾の力をおかりして指導している部分がないとは言えないのが現状でございます

けれども、そういった部分を踏まえて、できることがあるのかどうかということ踏まえまして、できると断言できずに申しわけなく思っているところでございますけれども、その辺のところはちょっと研究をさせていただければと思っているところでございます。

#### ○G委員

ありがとうございます。

ちょっと御質問させていただいたのが、特に受験指導でちょっと思うところがやっぱりありまして、特色選抜の結果がきのう出まして、今度、一般入試をどうするかというのを決める時期になっているんですけれども、やっぱり毎年、適切かなと思うアドバイスをされる先生がいらっしゃるように思っております。

具体的に言いますと、何か特色選抜を受けたところを入試で落ちたとしても、もう一回一般入試で受けたほうが受かりやすいよとか、これは何年か前に県の教育委員さんに電話して確認させていただいたんですけれども、そういったことはない。多分、先生の経験でおっしゃっているんだと。もちろん、先生の経験というのも大事ですけれども、やっぱり先生の経験値だけじゃなくて、ちゃんとそういった研修とか、何かデータを参考にするものがあるのかとか、そういったのを参考に、またはこういったところでも本当に塾の力というか、民の力というのをまた絡めていければなと思って御質問させていただいたところでした。

#### ○職務代理者

ほかにございませんでしょうか。

#### ○E委員

同じ3ページのところですが、(4)の②のところの保護者の学習機会の充実というところで、マタニティヨガ、パステルアートと上げてあるんですけれども、私もヨガをしますので、ヨガのよさとかもわかるんですけれども、数あるフィットネスであるとか趣味の中で、このマタニティヨガ、パステルアートとここに上げている理由と伺いますか、そういったことを教えていただきたいんですけれども。

#### ○教育政策課長

保護者の学習機会の充実で、マタニティヨガ、パステルアートと上げておりますのは、ほかに上げている事業も含めまして、子育て総合支援センターで実施している事業ですけれども、妊娠中のお母さん方を対象にヨガを行ったり、あとパステルアートということで、妊娠中、リラックスした気分で、母親となって子どもを持つときに備えて、安定した気持ちで子育てのことを考える機会として、こういった事業をセンターで取り入れております。利用者の方もいらっしゃいます。

#### ○E委員

これはそしたらセンターのほうにお任せというか、内容についてはセンターのほうで。

#### ○教育政策課長



そうですね、子育て総合センターの事業については、年間事業について協議会の中でもお話をいたしまして計画を立ててもらっておりますので、センター事業ということでお任せをしております。

**○E委員**

ありがとうございました。済みません、もう1ついいでしょうか。

**○職務代理者**

はい、どうぞ。

**○E委員**

【重点事項6】の(2)の②のところの教職員のメンタルヘルスの対策強化についてですが、従業員が50名以上のところは、産業医を置いてメンタルヘルスとか、そういったことに当たらないといけないと法令でなっていると思うんですけれども、学校現場においては、産業医とかという考え方は学校単位になるのでしょうか、それとも武雄市の産業医とかという形、どなたか産業医がいらっしゃって、そういったことに当たられているのでしょうか。

**○学校教育課長**

学校といたしましては、学校単位で考えるようにしております。50名といいますと、武雄市の場合、武雄中学校が50名を超える職員数になっております。したがって、来年度はまずメンタルヘルスチェックに関して予算措置をしております。それを受けました後、相談ということになりますけれども、一応校医さんに産業医のことまでお願いするのは大変なんですけれども、校医さんに何かあったときには相談しようということを考えているところでございます。

ただ、今までも特に勤務時間のチェックはずっと行ってございまして、勤務時間が長い職員、80時間を超える職員につきましては、本人の希望により産業医の面談を受けるという制度がございまして、それに伴いまして、校長、管理職のほうから自発的、時間外勤務時間が長い職員に関しまして、面談を必ず行いまして、「産業医の相談を受けないでいいですか」という声かけは毎月するようにしておりますけれども、今年度、昨年、一昨年度、産業医の面談を希望した職員は今のところおりません。

**○E委員**

そしたら、武雄中学校の場合は、校医の古賀先生が産業医も兼ねているということですか。

**○学校教育課長**

制度上ですね。ただ、産業医というふうにしちつとした名前にはしてございませんので、ちょっとその辺のところは今後整理をしたいなと思っておりますのでございます。

**○E委員**

はい、わかりました。ありがとうございました。

**○職務代理者**

ほかにございませんでしょうか。

## 〇〇委員

スマイル学習課と生涯学習課にちょっと質問と提案をさせていただきたいと思っているんですが、13ページに学校支援地域本部の設置というのが明示されておりますが、これは文部科学省では生涯学習局で担当しているんですね。武雄はおくれているんですけど、この学校支援地域本部の事業がもう10年経過したと。それで、新たにこれを発展させて、お互いに協働でやっていくということから、地域学校協働本部事業という形に名称をもう変えているんですね。おくれた事業と新しい事業との接点をどう考えているのか、その辺のところのお考えをちょっと聞かせていただきたいということが1点。

もう1つは14ページですが、14ページと関連するところが7ページの人権の問題のところ、今、地域では、まだまだ「村八分」というような言葉が飛び交う状況があるんですよ。そういうことから考えていきますときに、やはりその辺のところを必要課題として、今、公民館では要求課題だけしているんですよ。というのが、地域の人たちがふれあい講座等を公民館独自のこととして事業を展開しているんですが、市の行政が、やっぱり地域ではこういうことが必要なんだという必要課題を提供していないんですね。だから、公民館任せになっているんです。

そういった点で、具体的な取り組み内容の②で「各町公民館活動の一層の活性化」と言われておりますが、やっぱり必要課題は何かといったときに、人権と、それからもう1つは子育て、この辺のところは私はことしは必要課題だと思っているんですよ。その辺のところをやっぱり入れるべきだと思っているんですね。

それからもう1つ、課長にお願いしていたのは、各団体が今疲弊してもう潰れていっているんですね。そういった点で、団体のお互いの相互交流の研修会等をしてくださいと事前をお願いをしていたんですが、その辺のところは入っていないですもんね。その辺のところを社会教育の事業として、私は7番目に入れなきゃいかんと思うんです。その辺のところの提案をしたいと思っているところです。2点ですね。

## 〇学校教育課長

1点目の地域学校協働本部のことについてでございます。

これに関しましては、学校教育課も絡んでこの事業を行っているところでございます。

委員御指摘のとおり、昨年度まで学校支援地域本部事業という事業がございまして、平成28年度からその事業が発展いたしまして、地域学校協働本部事業と名称変更されているところでございます。

ただ、この地域学校協働本部事業と名称変更されましたのがぎりぎりになりまして、もう御存じのように、文科から県に事業委託がありまして、県からうちに来るというふうな流れがまだちょっと届いていない状況でございます。したがって、平成28年度の武雄市の事

業といたしましては学校支援地域本部事業という名称を使わせていただいているところでございます。その中身につきましては、委員から御指摘がありました地域学校協働本部事業を想定しているものでございます。

これに伴いまして、現在のところ、武雄市内にあります全ての小学校区でこの事業を立ち上げると。さらに中学校では、山内中学校と武雄中学校でこの本部事業を立ち上げるという計画にしているところでございます。

本来、全ての小・中学校で立ち上げたかったですけれども、例えば、北方中学校につきましては、既に小学校、中学校がコミュニティースクールを行っておりまして、地域との連携をしているわけでございます。その中で、「小学校にも本部も立ち上げ、中学校にも本部を立ち上げると、かえって地域の力が一つにならない」という地域からの声をいただきまして、来年度のところは小学校に付随して地域本部事業を立ち上げまして、中学校も関連してコミュニティースクールと一体となって取り組もうと考えているところでございます。

御存じのどおり、この協働本部事業と申しますのは、コミュニティースクールと両輪と言っても過言ではないと思っております。文科といたしましては、このコミュニティースクールをできるだけ広げたいという要望がございまして、武雄市といたしましても北方中学校を皮切りに、北方中学校、北方小学校、武雄中学校、朝日小学校というふうに徐々に広がっていているところでございますけれども、この協働本部事業を核にいたしまして、さらに地域とまさに組んで行う事業をしたいと考えております。

繰り返しになりますけれども、学校地域支援本部事業とここに銘打っておりますのは、武雄市の予算に、ちょっと文言が間に合わなかったために、事業内容としましては地域学校協働本部事業を想定しております。今度、予算説明を市長が行いますけれども、そのときも学校地域支援本部事業（地域学校協働本部）という形で予算を提案する予定にしているところでございます。

### ○生涯学習課長

本当に貴重な御意見をいただきましてありがとうございます。

まず、1点目でございますが、各町公民館で行われております各種講座でございますが、御指摘のとおり、この人権関係、子育て関係、公民館を場として関係する団体が講座をするということは今までもございましたが、御指摘のとおり、より積極的な、各町が主体となった、各公民館が主体となった取り組みというの、これから必要になってくると感じておりますので、そこは御指摘のとおり、今後、各町公民館の活動の活性化という意味で踏まえていきたいというふうに思っております。

あと、2点目の御指摘の社会教育団体の振興でございますが、ちょっと言葉足らずではございましたが、この重点施策の①～③、それぞれやはり重要な担い手の一つと考えておりますので、そういった社会教育団体の皆さん方の各種連携、また情報交換、また活動の活性化

という視点を入れながら、この①～③を進めていくということで進めていきたいと思っております。貴重な御指摘をいただきましてありがとうございます。

#### ○職務代理者

ほかにございませんでしょうか。

#### ○D委員

2ページですけれども、たくましい身体の育成のところ、早寝・早起き・朝ごはんの推進で、朝食摂取率が小学校は97%、中学校は92%ですけれども、100%でないのはなぜかなと思ってですね。

#### ○学校教育課長

目標値として100%としたいところですが、残念ながら、なかなか構ってもらえない御家庭があるのも事実でございます。これでもちょっと高目の目標にしております、この目標はぜひクリアしたいと。100%にしたかったけど、100%にしたら、もう最初から1件1件のちょっとかなり厳しいところをクリアできずに、クリアできないということにするよりも、手を伸ばせば届くかなという目標に設定したかったので、この目標にしました。

今、小学校で95%ちょっと切っているぐらい、学校によってももちろん差がございます。若木小学校は今回すごく伸びておりますけれども、中学校は、学校によりますけれども、学校によると90%切っている学校もまだあります。

ただ、若木小学校で研究しましたことを踏まえ、朝食をとったかとっていないかだけではなくて、その中身、いわゆる食の質、食の量も大事になってくることは今回の研究で重々わかっております。なかなかそれを数値目標として今回上げることができませんでしたので、次回からそれが何とか反映できるような目標値が設定できればなと思っているところでございます。気持ちとしては100にしたいところでございますけれども、手が届くところに目標設定をしたいということで、この数字を出させていただきました。

以上でございます。

#### ○D委員

ありがとうございます。

そういう事情があるのかなと思いつつも、ちょっとお尋ねしたところでしたけれども、若木小学校ではスーパー食育スクールで食育がすごく進んでいるし、保護者のお母さんたちからもお話を聞いて、やっぱり勉強になったという話も聞くので、これが若木小だけではなくて武雄市の学校全体が保護者の教育、食育にもつながるような食の取り組みができたらいなと思いました。以上です。ありがとうございます。

#### ○職務代理者

ほかにございませんか。G委員さんどうぞ。

#### ○G委員

2 ページの【重点事項 4】幼・保・小・中・高連携の推進のところですが、(1)の具体策を年間計画に盛り込みというところで、ちょっと御提案です。

実は2月上旬に山内東小学校で、新小学1年生になる保護者対象の説明会に私も親として参加させていただいたんですけれども、やっぱりそういったところで校長先生からのお話を聞いて、留意点などがよくわかり大変心強く思ったところでした。

その後、そこにいらっしゃっていた幼稚園の先生にも、今の現状の把握とか、何か今後の改善点はないかということでお伺いしたところ、以前は幼稚園の先生が小学校に行くということがあまりなくて、紙だけで園児さんの情報を伝えていたけれども、今こうやって行くようになって、それは口頭でいろいろ情報を伝えられて助かっている。ただ、こういった機会が年間に1回ぐらいしかないのも、もう少し回数をふやしたり、来年度、新1年生の担当の先生が絶対にいるとは限らないので、本当に引き継ぎとかが十分に行われるかちょっと不安なところもあるとおっしゃっておいりましたので、そういったところは回数をふやしたり、連携とか情報の伝達などをちょっとと思ったところでした。

**○職務代理者**

今後の連携のあり方として、何回か回数をふやしてほしいということですね。そういう意見ですね。この内容を訂正じゃなくてですね。

**○G 委員**

はい。

**○職務代理者**

ほかにございませんでしょうか。

**○A 委員**

「武雄市の教育」の5ページの1のところの、四角で囲んだところの一番最後の行ですが、「この「知」「徳」「体」の調和のとれた子どもを育む学校教育を推進します。」、この文字は、平成27年度の基本目標の文言なんですよね。それで、ここの1行は、上のほうにありますように、知・徳・体を高く調和させる教育の推進と基本目標に合わせるということで、この知・徳・体を高く調和させる教育の推進としたほうがよくはないかと思いました。

**○教育政策課教育政策係長**

はい、わかりました。

**○A 委員**

それともう1点、真ん中ら辺の基本目標Ⅱのところの生涯学習の推進のところ、(2)で重要文化財企画展の充実、これはのけていいと思いますので。修正をお願いいたします。

**○職務代理者**

ほかにございませんか。

**○教育長**

いろいろ御意見いただきまして本当にありがたいですが、校長先生たちには平成28年度の特に重点の中の重点として、やっぱりICT教育はいろんな可能性を秘めているというところで、1人1台を有効に生かす方法を考えてほしいということを行っています。

それからもう1つが、先ほど来出ている、やっぱり学校と地域の連携、あるいはもう学校を核としたまちづくりのような話まで出てくるんですね。そうすると、今まで市内の学校で応援してもらって、支援してもらっていたという段階じゃなくて、もうちょっと突っ込んだ地域の学校づくりというのが意識されないといけないと。

それがどういうふうにして意識が高まるのだろうかということ考えたときに、やっぱり花まるとの連携とかというのが一つの大きなきっかけにはなっていると思うんですね。ただ、それだけではいけないわけで、全てにこの地域との連携の中でというのが今出てきていますので、平成28年度は特にいろんな面で、今の話の中にもどの領域でも地域が出てくるわけですので、そのあたりを我々も勉強しながら共通に理解して進めていかんといかんだらうと思っております。その2つです。

#### ○職務代理者

ありがとうございました。

この教育方針について、教育大綱の「組む」という中に「徹底的家庭応援」、これが私は物すごく気になっております。とても大事なことだなと思っております。この前の川崎の事件でございますが、加害した19歳の少年の生い立ちは、ほとんど父親からの暴力で育てられている。だから、人の痛みとか、こんなことをしたらどうだということがわからない。だから、それを人にもそうしてしまう。だから、そういう人間を、それこそ未来を担う全ての子どもを主人公にというような、この子どもを育てるのに、そういう子どもを武雄市から絶対育ててはいけない、そういう気持ちでこの教育に当たっていきたくて私は思います。

それと、学力の向上も食育も、私は家庭との連携というのは絶対欠かせないと思います。学習習慣も現場でいろいろ聞いていると、やっぱり家に帰ったらばらっとなってしまう子と、している子は、やっぱりきちっと親もそういうことをしている。それから、食育も若木でああいうふうになっている。あれをうまく広げていかないと、今さっき朝食摂取率なんかでも、周りでは想像もできないような朝を過ごして学校に来ているという子どもたち、やっぱり授業にも集中していない、落ちつかない、問題行動を起こすというのは、この市内の学校の中にもあるようです。そしたら、そこに親さんが無関心とか、それこそ無責任な、パンを与えていたとか、冷蔵庫に入れているのをチンして食べなさいとか、それこそ子どもと会話をしていないとか、そういうことがよく聞かれます。それが全部とは言いませんけれども、そうすると、やっぱり家庭との連携というのは、学習時間も家庭での――これは秋田でも言われていましたが、家庭学習をきちんとしているということになれば、やっぱり家庭との連携が必要だろうし、食事はマナーからなんからすると、やっぱり家庭との連携というのも必要

じゃないかなと思います。

それと、子育てのほうで放課後児童クラブというのがよく問題、話題に上っておりますが、この説明の中で大事なことを言っていただきました。放課後児童クラブに行っていないところの子ども、親さんに対する対応、これは本当に私は両方大事だと思います。

そういうときに、私は放課後児童クラブがあつての話になつてしまっているから、なぜ必要なのかというところからもう一度、親さんたちの実態調査というのは必要じゃないかなと。物すごく難しいと思いますけれども、親さんたちの喜びや苦しみとかなんとかをきちんとこっちが把握して、そしたら市でどういうふうな支援ができるかということをしていかないと、何か放課後児童クラブあつてどうだ、これがなければどうだこうだとなっているけれども、そうじゃなくて、やっぱり実態を把握して、だからこうしますよということを市民の皆さんにもしないと、地域の見守りも何も生まれてこないんじゃないかなと思つたりしますけれども、その実態調査というのは、ちょっと大変なことではあると思いますけど、何か学校とタイアップして調べる必要もあるんじゃないかなと思つたりしております。

私もいろいろあつちこつちありましたけれども、時間がありませんので、終わりたいと思います。

もう1つ、具体的施策の1ページの中に、【重点事項1】の(3)読書活動の推進の中の①朝の読書活動というのは、これはもう「朝の」じゃなくて、「読書活動の推進」としたほうがよくないかなと。官民一体のあれが入ってくると、朝というのはなかなかできないというのも現場の声としては出てきております。いかがでしょうか。読書させたいけれども、一応それもさせている。だから、この読書という時間をどこにどうとるかなというようなこともまた学校の問題にもなっているようでございます。その付近もちょっと頭に置いていただいて、検討いただければと思います。これは私からの気づき、提案でございます。

これは28年度から29年度にも続くと思いますので、これを通して、また委員さん方もずっと検証をしながら、29年度にこの教育方針に生かすようにするというところで、ここでまずよろしいでしょうか。また随時気づきがありましたら出していただくということで、済みません、ちょっと時間もございませんので、ここでちょっと締め切りしたいと思います。

では、報告事項でございます。

市立図書館の選書についてでございますが、感想とカリクエストとか何かございましたら。ないようでしたら、ここはよろしいでしょうか〔「なし」と声あり〕。

いろいろお世話いただいてありがとうございます。

私の感想としては、本の種類を見ていて、タイトルがよくいろいろあるもんだな。本当に本の名前がよくあるなあと思って、それに感心いたしているところです。

また、選書委員会の委員さんたちには、これだけの本を選書していただくというのは、本当に御苦労さんだなと思います。どうぞ感謝をお伝えください。

では、各課からの報告に移りたいと思います。

#### ○教育政策課長

7ページ～8ページ、1行事報告、2行事予定について、平成28年2月 定例教育委員会報告事項により説明。

#### ○学校教育課長

9ページ、1行事報告、2行事予定、3寄附採納について、平成28年2月 定例教育委員会報告事項により説明。

#### ○スマイル学習課長

10ページ、1行事報告、2行事予定について、平成28年2月 定例教育委員会報告事項により説明。

#### ○生涯学習課長

11ページ～12ページ、1行事報告、2行事予定について、平成28年2月 定例教育委員会報告事項により説明。

#### ○文化課長

13ページ～14ページ、1行事報告、2行事予定、図書館視察等対応について、平成28年2月 定例教育委員会報告事項により説明。

#### ○図書館・歴史資料館長

15ページ～16ページ、1行事報告、2行事予定、図書館視察対応について、平成28年2月 定例教育委員会報告事項により説明。

#### ○職務代理者

ありがとうございました。質問はそれぞれの課長さんにお尋ねをしてください。

全体に関係のあるものは何かございませんでしょうか〔「なし」と声あり〕。

そしたら、今回は3月24日、木曜日、午後3時から教育委員会です。そして、その日の前のほうで1時半からこども教育会議です。

#### ○教育長

ちょっとまだ未定ですけど、10日前後に臨時を開かせてもらおうと思います。

#### ○職務代理者

またそのほかにも3月は何回か臨時教育委員会がありますので、そのつもりでお願いいたします。

それでは、今から3月の議会も始まりますし、卒業式、卒園式もあります。本当に何かみんなが慌ただしい日々、それにまた季節も何かわくわくしてくるような季節でございます。お互いに子どもも大人も皆さん安全に過ごしてください。

これをもちまして2月の定例教育委員会を終わります。ありがとうございました。

午後4時24分 閉会